

地方創生関連交付金活用事業について



令和2年7月29日



ご当地アニメ「サクラノチカイ」の制作（平成29年度～）

【目的】

子ども（子育て世代の保護者）から若者世代をメインターゲットとした下野市のPR

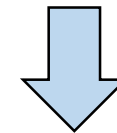
【内容】

下野市出身の歴史上の人物「下野朝臣古麻呂（下野古麻呂）」と下野市観光大使である瓜田瑠梨（まろに☆え〜る）が出会い、現在の下野市を舞台に市内を巡る短編アニメーション

【特徴】

「輝け！下野エール大使」の活用

- ・下野古麻呂の声を下野紘さん（人気声優）が担当
- ・キャラクターを一葵さやかさん（漫画家）が担当



制作したアニメやキャラクターを積極的に活用

- ① 下野市のシティプロモーション
- ② 経済循環の創出
- ③ 交流人口・関係人口の創出
- ④ 愛着心・郷土愛の醸成



1. ご当地アニメを活用した移住定住促進プロジェクト

※地方創生推進交付金活用事業

① 下野市のシティプロモーション

- ・アニメ完成記念特番の放送（H30年1月10日：とちぎテレビ）
- ・インターネットサイトへのプレスリリース
- ・アニメ関連店舗へのチラシの設置
- ・アニメ雑誌への広告掲載
- ・大型イベントへの出展
- ・TV番組及びYoutube動画「まるで☆え〜るTV」の放映と番組内での下野市の広告
- ・とちぎテレビアニメ専用サイトにおける下野市のPR
- ・市シティプロモーションサイトにおけるアニメ特設ページの作成



【PR用ノベルティグッズ】
コクヨのキャンパスノート

② 経済循環の創出

- ・関連グッズの制作・販売
- ・市内店舗とのコラボ商品の開発・販売
- ・協力店舗を掲載した市内マップやのぼり旗の作成
- ・市内を巡る聖地巡礼スタンプラリーやカードラリー企画の実施
- ・キャラクターでラッピングしたレンタサイクル用自転車の配備



1. ご当地アニメを活用した移住定住促進プロジェクト

※地方創生推進交付金活用事業

③ 交流人口・関係人口の創出

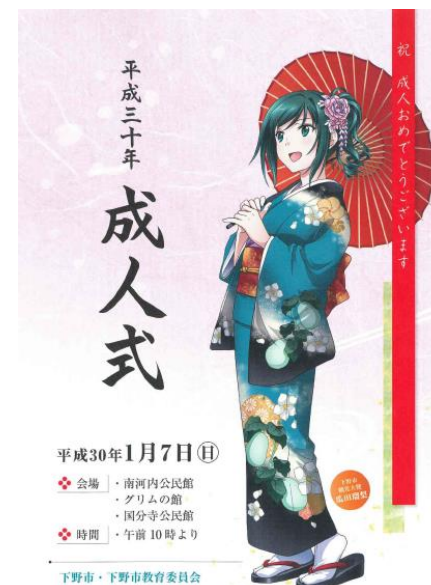
- ・ 薄墨桜ライブイベント
- ・ 聖地巡礼バスツアー
- ・ リアル宝探しイベント
- ・ ファンの集い（真岡市との連携事業）

＊ 地域おこし協力隊の導入



④ 愛着心・郷土愛の醸成

- ・ 下野市の歴史をマンガで学べる
『マンガで分かる！東の飛鳥「下野市」の歴史』
 - ▶▶ 市内小学6年生へ配布
 - ▶▶ 一般販売
- ・ 成人式などのプログラムにキャラクターを活用



2. 広域公共交通でつなぐ地域の宝（人・観光・健康・仕事） 1市2町連携プロジェクト事業

※地方創生推進交付金活用事業

(令和元年度～)

概要

下野市、壬生町、上三川町による1市2町エリア全体の資源を最大限に活かすため、地域住民の生活交通と観光2次交通の両面から、エリアを東西につなぐ巡回路線バスシステムを構築し、併せて1市2町連携による広域周遊観光や東京圏等からの移住定住促進、域内住民の健康増進等を通じた生涯活躍のまちの形成、さらにはコンパクトなまちづくり等を連動させ、それら施策を一体的に推進することで圏域全体のまち・ひと・しごと創生の実現につなげる。

1市2町 下野市・上三川町・壬生町 広域連携バス

ゆうがおバス

JR 石橋駅～獨協線運行時刻表

【平日】 (9往復)			
JR石橋駅	獨協大	獨協大	JR石橋駅
7:23	→ 7:45	7:55	→ 8:17
8:50	→ 9:10	9:25	→ 9:46
10:30	→ 10:50	10:55	→ 11:16
11:56	→ 12:16	12:30	→ 12:51
13:27	→ 13:47	14:00	→ 14:21
15:25	→ 15:45	15:50	→ 16:11
16:50	→ 17:10	17:15	→ 17:37
17:54	→ 18:16	18:21	→ 18:43
19:00	→ 19:22	19:27	→ 19:49

【土・日祝】 (4往復)			
JR石橋駅	獨協大	獨協大	JR石橋駅
8:50	→ 9:10	9:20	→ 9:40
13:27	→ 13:47	14:00	→ 14:20
15:25	→ 15:45	15:50	→ 16:10
17:45	→ 18:05	18:15	→ 18:35

ゆうきが丘循環線運行時刻表

【平日】 (8往復)					【土・日祝】 (5往復)						
JR石橋駅	ゆうきが丘	JR石橋駅	ゆうきが丘	JR石橋駅	JR石橋駅	ゆうきが丘	JR石橋駅	ゆうきが丘	JR石橋駅		
6:53	7:00	7:13	8:00	8:07	8:20	6:15	6:22	6:35	7:25	7:32	7:45
9:55	10:02	10:15	10:10	10:17	10:30	16:43	16:50	17:03	17:05	17:12	17:25
15:50	15:57	16:10	12:25	12:32	12:45	17:20	17:27	17:40	17:55	18:02	18:15
19:35	19:42	19:55									

石橋・獨協大病院線 運賃表

乗車区間	乗車回数	乗車回数	乗車回数	乗車回数	乗車回数
乗車回数	乗車回数	乗車回数	乗車回数	乗車回数	乗車回数
180円	180円	200円	260円	330円	360円
180円	180円	240円	300円	360円	360円



2.広域公共交通でつなぐ地域の宝（人・観光・健康・仕事）1市2町連携プロジェクト事業

※地方創生推進交付金活用事業

①広域連携バス実証運行

H31.10から広域連携バスの実証運行を目指し事業を推進する。初年度は、上三川町の通勤・通学者の需要に合理的な時刻・ルートを設定し実証を行う。また、利用者がバスのリアルタイム運行情報等を検索できる「バスロケーションシステム」等のICTを活用した利用促進や沿線地域住民や事業者と協働し、収益性を重視した運行を実施する。



【経路】下野市（JR：石橋駅）～壬生町（東武：おもちゃのまち駅、獨協医大病院）
下野市（JR：石橋駅）～上三川町（ゆうきが丘団地）

2.広域公共交通でつなぐ地域の宝（人・観光・健康・仕事）1市2町連携プロジェクト事業

※地方創生推進交付金活用事業

②広域連携バスにより向上する地域回遊性の活用

- ・ **公共交通連携観光促進事業**

観光ニーズの検証によりバスやタクシーといった公共交通と観光地とを連携した旅行パック企画の商品化、自走化を図る。

- ・ **広域連携健康マイレージ事業**

医療環境や回遊性と併せて地域内外へ発信し、健康マイレージ事業をPRすることで地域の「健康」を磨き上げる。

- ・ **1市2町PR事業**

観光としてのロゲイニング事業の自走を目指し、回遊性の向上により1市2町の特産物販売拠点の相互連携効果による売上増加及び首都圏マルシェでの特産物の販売による1市2町の認知度向上と販路拡大により、地域農家等の増収を図る。

③広域連携バスにより向上した地域の魅力による移住定住の促進

- ・ **移住促進のため創業支援促進**

空き家バンク・空き店舗バンクと連携を強化し、創業支援とパッケージ化した一体的な支援を実施

- ・ **1市2町移住・定住促進費用**

東京圏での1市2町の魅力発信のため合同移住・定住促進セミナーを実施

3. 6次産業化施設ゆうがおパークの活性化事業

※地方創生推進交付金活用事業

(令和元年度～)

概要

地域の6次産業化、都市住民との交流の拠点である「ゆうがおパーク」に外部専門人材による店舗経営のノウハウを注入し、経営のブラッシュアップを図るとともに、モニターツアーなど観光イベントや田植え、稲刈り、芋ほりなどの農業体験事業との連携・連動を図ることにより、都市と農村の交流を促進する。

本事業においては、地元住民の出資法人が運営するゆうがおパークが、自立安定的な経営となり、農業資源を活かした地域活性化の拠点となるために、その初期段階を行政が支援するものである。



・専門家によるゆうがおパークの現況の把握、商品開発リサーチ

ゆうがおパークの現況について第三者機関へ委託し、年間を通じた経営診断を行い、具体的な経営改善策を実施していく。

・特産品であるかんぴょうを活用したイベントの実施

イベント等を通じて都市住民との交流促進を図り、来場者に対し6次産品の試作販売、アンケート調査を行い検証し、商品改善につなげる。



しもつけかんぴょうまつり

4. 民俗資料館「夜明け前」リノベーション事業

※地方創生拠点整備交付金活用事業

- ◆ 民俗資料館「夜明け前」を古民家カフェおよび多目的スペースに改修
- ◆ デリカカフェではテイクアウト方式の飲食を提供
- ◆ 通年を通じた天平の丘公園の賑わいづくりを行う



シェアスペース「夜明け前」



デリカカフェ「10 picnic tables」



公園を活用したマルシェイベント

5.グリムの館施設整備事業

※地方創生拠点整備交付金活用事業

- ◆グリムの館内に不足していた更衣室・控室を増設し、図書コーナーを移設。
- ◆様々なイベントにより増加している利用者を収益の向上につなげていくため、カフェレストランを館外に新設。
- ◆グリム童話をモチーフに、親子連れにも利用しやすい「おかしの家」が完成。



パンケーキやドリンクはテイクアウトも可能



チョコレートをイメージした外観のドームハウス



6. 下野薬師寺歴史館 増改築事業

※地方創生拠点整備交付金活用事業

- ◆下野薬師寺歴史館を増築し、多目的ホールに改修し、機能強化を図る。
- ◆VRコンテンツを活用し、道の駅しもつけに立ち寄る観光客を歴史館の収益とシティプロモーションにつなげるため、グッズの開発や来訪する団体客の受け入れが可能な体制の整備。
- ◆小学生の体験学習の活性化を「ふるさと愛の醸成」につなげている。



北東側を増築



広くなった多目的ホール



平成30年度から多目的ホールを活用し、体験学習などを開催。VR体験も増加傾向にある。しもつけ風土記の丘資料館と連携し、スタンプラリー企画や古墳カードの配布など様々な取組を実施している。